

補正前後比較表

朱書き・下線部分が補正箇所

補正前	補正後	補正理由・内容
<p>7ページ</p> <p>5. 6 構造等を踏まえた当面必要となる対応策の実施</p> <p>(1) 安全上重要な設備が設置されている建屋の浸水防止</p> <p>余震の津波・浸水による電源や除熱機能の喪失を防止するため、津波発生時に発電所構内へ集中的に津波が遡上した発電所南側海岸アクセス道路に築堤すると共に熱交換器建屋扉・ハッチ廻りに土嚢を積み、浸水防止対策を実施した。</p> <p>(添付資料－9)</p> <p>(2) 構内道路等のアクセス性確保</p> <p>津波来襲後の構内道路等のアクセス性の確保のため、重機（ホイールローダ等）及び碎石を配備した。</p>	<p>7ページ</p> <p>5. 6 構造等を踏まえた当面必要となる対応策の実施</p> <p>(1) 安全上重要な設備が設置されている建屋の浸水防止</p> <p>余震の津波・浸水による電源や除熱機能の喪失を防止するため、津波発生時に発電所構内へ集中的に津波が遡上した発電所南側海岸アクセス道路に築堤すると共に熱交換器建屋扉・ハッチ廻りに土嚢を積み、浸水防止対策を実施した。</p> <p><u>また、現時点においては、東北地方太平洋沖地震時と同程度の津波・浸水に対して、緊急安全対策で使用する機器の機能喪失を防止するため、タービン建屋に設置されているポンプ（復水移送ポンプ）廻りに土嚢を積み、浸水防止対策を実施した。</u></p> <p>(添付資料－9)</p> <p>(2) 構内道路等のアクセス性確保</p> <p>津波来襲後の構内道路等のアクセス性の確保のため、重機（ホイールローダ等）及び碎石を配備した。</p>	<p>東北地方太平洋沖地震時と同程度の津波・浸水に対しての、浸水防止対策を追記した。</p>

補正前後比較表

朱書き・下線部分が補正箇所

補正前					補正後					補正理由・内容
19 ページ					19 ページ					表中の各負荷容量を算出する際、関連機器の負荷容量を、補正前は小数点第2位で四捨五入していたが、補正後は小数点第2位を切り上げ（安全側）とした上で、総和を求めることとしたため、各負荷容量の値が変更となった。 同上
a. 原子炉・使用済燃料プールへの代替注水及び淡水移送機能					a. 原子炉・使用済燃料プールへの代替注水及び淡水移送機能					
号機 負荷	1号機	2号機	3号機	4号機	号機 負荷	1号機	2号機	3号機	4号機	
復水移送ポンプ、 残留熱除去系封 水ポンプ等の負 荷容量 (kVA 相当)	【P/C 1D-1】 124.4	【P/C 2D-1】 104.2	【P/C 3D-1】 131.2	【P/C 4D-1】 107.4	復水移送ポンプ、 残留熱除去系封 水ポンプ等の負 荷容量 (kVA 相当)	【P/C 1D-1】 <u>124.8</u>	【P/C 2D-1】 <u>104.5</u>	【P/C 3D-1】 <u>131.5</u>	【P/C 4D-1】 <u>107.7</u>	
純水移送ポンプ 等の負荷容量 (kVA 相当)	【P/C 1D-1】 1.3 【P/C 1WB-1】 51.7	【P/C 2D-1】 1.1	【P/C 3D-1】 0.5	【P/C 4D-1】 1.3	純水移送ポンプ 等の負荷容量 (kVA 相当)	【P/C 1D-1】 1.3 【P/C 1WB-1】 <u>51.8</u>	【P/C 2D-1】 1.1	【P/C 3D-1】 <u>0.6</u>	【P/C 4D-1】 1.3	
その他共通設備 の負荷容量	【P/C 1D-1】 169.3	【P/C 2D-1】 189.3	【P/C 3D-1】 180.6	【P/C 4D-1】 196.8	その他共通設備 の負荷容量	【P/C 1D-1】 169.3	【P/C 2D-1】 189.3	【P/C 3D-1】 180.6	【P/C 4D-1】 196.8	
b. 上記の機能に除熱機能を追加					b. 上記の機能に除熱機能を追加					
号機 負荷	1号機	2号機	3号機	4号機	号機 負荷	1号機	2号機	3号機	4号機	
残留熱除去系ポ ンプ負荷容量 (kVA 相当)	【M/C 1D】 862.1	【M/C 2D】 755.6	【M/C 3D】 862.1	【M/C 4D】 823.3	残留熱除去系ポ ンプ負荷容量 (kVA 相当)	【M/C 1D】 862.1	【M/C 2D】 755.6	【M/C 3D】 862.1	【M/C 4D】 823.3	
残留熱除去補機 系を追加 (kVA 相当)	【P/C 1D-1】 308.1 【P/C 1WB-1】 988.9	【P/C 2D-1】 620.6	【P/C 3D-1】 322.1 【P/C 3D-2】 552.7	【P/C 4D-1】 836.5	残留熱除去補機 系を追加 (kVA 相当)	【P/C 1D-1】 <u>308.6</u> 【P/C 1WB-1】 <u>989.1</u>	【P/C 2D-1】 <u>621.1</u>	【P/C 3D-1】 <u>322.5</u> 【P/C 3D-2】 552.7	【P/C 4D-1】 <u>837.0</u>	

補正前						補正後						補正理由・内容
21 ページ						21 ページ						
4. 主な資機材の配備数						4. 主な資機材の配備数						
上記の必要容量を満足させるため、以下の資機材を現状配備している。						上記の必要容量を満足させるため、以下の資機材を現状配備している。						
号機 項目	1号機	2号機	3号機	4号機	備考	号機 項目	1号機	2号機	3号機	4号機	備考	
注水機能用 電源確保 ^{※1}	【P/C 1D-1】 500kVA電源車 【P/C 1WB-1】 500kVA電源車	【P/C 2D-1】 500kVA電源車	【P/C 3D-1】 500kVA電源車	【P/C 4D-1】 500kVA電源車	電源車等による、 ・バッテリーへの電源供給 ・監視制御系機能維持 ・復水移送ポンプ等への電源供給 待機中の電源車容量 ・5750kVA	注水機能用 電源確保 ^①	【P/C 1D-1】 500kVA電源車 【P/C 1WB-1】 500kVA電源車	【P/C 2D-1】 500kVA電源車	【P/C 3D-1】 500kVA電源車	【P/C 4D-1】 500kVA電源車	電源車等による、 ・バッテリーへの電源供給 ・監視制御系機能維持 ・復水移送ポンプ等への電源供給 ^②	①※1の必要負荷容量は 除熱機能を追加した電源 確保について記載してい ることから削除した。 ②※1で十分な説明が出 来る為、待機中の電源車容 量を削除した。
除熱機能を 追加した電源 確保 ^{※1}	【M/C 1D】 (*1) 【P/C 1D-1】 500kVA電源車 【P/C 1WB-1】 500kVA×2 電源車	【M/C 2D】 (*1) 【P/C 2D-1】 750kVA電源車	【M/C 3D】 (*1) 【P/C 3D-1】 500kVA電源車 【P/C 3D-2】 500kVA×2 電源車	【M/C 4D】 (*1) 【P/C 4D-1】 500kVA×2 電源車	電源車等による、 ・バッテリーへの電源供給 ・監視制御系機能維持 ・復水移送ポンプ等への電源供給 ・残留熱除去補機系 (*1) 残留熱除去系ポンプ 用として、起動器又は大 容量電源車を検討中 待機中の電源車容量 ・3500kVA	除熱機能を 追加した電源 確保 ^{※1}	【M/C 1D】 ^③ (注1) 【P/C 1D-1】 500kVA電源車 【P/C 1WB-1】 500kVA×2 電源車	【M/C 2D】 ^③ (注1) 【P/C 2D-1】 <u>500kVA×2</u> 電源車 ^④	【M/C 3D】 ^③ (注1) 【P/C 3D-1】 500kVA電源車 【P/C 3D-2】 500kVA×2 電源車	【M/C 4D】 ^③ (注1) 【P/C 4D-1】 500kVA×2 電源車 ^③ 残留熱除去補機系 (注1) 残留熱除去系ポン プ用として、起動器又は 大容量電源車を検討中 ^②	③他の註記と混同するた め、表現を「*1」から「(注 1)」に変更した。 ④750kVA 電源車を柏崎 刈羽発電所に移動した為、 500kVA 電源車 2 台に見 直した。	
注水、冷却機能 の確保 ^{※2}	A-2級 消防車 (約120m ³ /h) : 3台 (淡水使用時 1台、予備 2台) (海水使用時 2台、予備 1台)				消防車等による水源の確保 及び代替注水	注水、冷却機能 の確保 ^{※2}	A-2級 消防車 (約120m ³ /h) : 3台 (淡水使用時 1台、予備 2台) (海水使用時 2台、予備 1台)				消防車等による水源の確保 及び代替注水	
500m必要消 防ホース数 ^{※3}	50本 (内25本バックアップ) (20m/本)					500m必要消 防ホース数 ^{※3}	50本 (内25本バックアップ) (20m/本)					
連結送水口 ～取水口距離	500m					連結送水口 ～取水口距離	500m					
予備ポンベ数	空気ポンベ 8本				空気作動弁 (原子炉格納容 器ベント弁) 駆動用	予備ポンベ数	空気ポンベ 8本				空気作動弁 (原子炉格納容 器ベント弁) 駆動用	⑤各負荷容量の変更によ り必要負荷容量を修正し た。 ⑥柏崎刈羽発電所に電源 車を2台 (合計1000kVA) 移動した為、供給力を見直 した。 ⑦誤記訂正した。
^{※1} 電源については、現状において必要負荷容量 (3628.9kVA) を満足する供給力 (合計17台の電源車にて 8250kVA) を配備している。今後も必要負荷容量の供給力を確保する。 ^{※2} 消防車の注水量はホース圧損を考慮した値。 ^{※3} 注水は消火系ラインで実施。ホース1本あたりの圧損、及び連結送水口、取水口の場所、消防車の性能を 考慮し、計3台の消防車が必要となる。						^⑤ ^⑥ 電源については、現状において必要負荷容量 (3631kVA) を満足する供給力 (合計15台の電源車にて <u>7250kVA</u>) を配備している。今後も必要負荷容量の供給力を確保する。 ^⑦ 消防車の注水量はホース圧損を考慮した値。 ^⑧ 注水は消火系ラインで実施。ホース1本あたりの圧損、及び連結送水口、取水口の場所、消防車の性能 を考慮し、 <u>最大2</u> 台の消防車が必要となる。						

補正前後比較表

朱書き・下線部分が補正箇所

補正前						補正後						補正理由・内容
22 ページ						22 ページ						
原子炉・使用済燃料プールへの代替注水及び淡水移送機能の電源容量						原子炉・使用済燃料プールへの代替注水及び淡水移送機能の電源容量						表中の各負荷容量を算出する際、関連機器の負荷容量を、補正前は小数点第2位で四捨五入していたが、補正後は小数点第2位を切り上げ（安全側）とした上で、総和を求めることとしたため、各負荷容量の値が変更となった。
電源母線	負荷名称	1号機 (冷温停止中) 負荷(kVA)	2号機 (冷温停止中) 負荷(kVA)	3号機 (冷温停止中) 負荷(kVA)	4号機 (冷温停止中) 負荷(kVA)	電源母線	負荷名称	1号機 (冷温停止中) 負荷(kVA)	2号機 (冷温停止中) 負荷(kVA)	3号機 (冷温停止中) 負荷(kVA)	4号機 (冷温停止中) 負荷(kVA)	
P/C D-1	(1)復水移送ポンプ、残留熱除去系封水ポンプ等の負荷	124.4	104.2	131.2	107.4	P/C D-1	(1)復水移送ポンプ、残留熱除去系封水ポンプ等の負荷	<u>124.8</u>	<u>104.5</u>	<u>131.5</u>	<u>107.7</u>	
	・復水移送ポンプB	73.0	59.5	61.8	59.5		・復水移送ポンプB	<u>73.1</u>	59.5	61.8	59.5	
	・RHR B系LPCI注入弁	20.0	20.0	20.0	20.0		・RHR B系LPCI注入弁	20.0	20.0	20.0	20.0	
	・RHR B系熱交換器胴側バイパス弁	9.8	9.8	9.8	9.8		・RHR B系熱交換器胴側バイパス弁	9.8	9.8	9.8	9.8	
	・RHR B系熱交換器胴側出口弁	4.6	4.6	4.6	5.9		・RHR B系熱交換器胴側出口弁	<u>4.7</u>	<u>4.7</u>	<u>4.7</u>	5.9	
	・FPCスキマサージタンク補給水止め弁	-	0.5	-	0.5		・FPCスキマサージタンク補給水止め弁	-	0.5	-	0.5	
	・RHR系原子炉側吸込弁	-	-	2.3	-		・RHR系原子炉側吸込弁	-	-	2.3	-	
	・RHR系吸込ライン内側隔離弁	-	-	10.3	-		・RHR系吸込ライン内側隔離弁	-	-	10.3	-	
	・残留熱除去系封水ポンプ	5.9	3.9	6.2	5.8		・残留熱除去系封水ポンプ	<u>6.0</u>	3.9	6.2	<u>5.9</u>	
	・RHR B系試験調節弁	9.8	4.6	15.0	4.6		・RHR B系試験調節弁	9.8	<u>4.7</u>	15.0	<u>4.7</u>	
	・主蒸気ドレンライン内側隔離弁	1.4	1.4	1.4	1.4		・主蒸気ドレンライン内側隔離弁	1.4	1.4	1.4	1.4	
	(2)純水移送ポンプ等の負荷	1.3	1.1	0.5	1.3		(2)純水移送ポンプ等の負荷	1.3	1.1	<u>0.6</u>	1.3	
	・RHR格納容器冠水注入弁	0.9	0.9	0.4	0.9		・RHR格納容器冠水注入弁	0.9	0.9	0.4	0.9	
	・FP-MUWC連絡第2弁	0.4	0.2	0.2	0.4		・FP-MUWC連絡第2弁	0.4	0.2	0.2	0.4	
	(3)その他共通設備の負荷	169.3	189.3	180.6	196.8		(3)その他共通設備の負荷	169.3	189.3	180.6	196.8	
	・直流125V充電器盤B	33.3	51.8	46.6	51.8		・直流125V充電器盤B	33.3	51.8	46.6	51.8	
・プラントバイタル電源設備用無停電電源装置B	36.0	37.5	34.0	45.0	・プラントバイタル電源設備用無停電電源装置B	36.0	37.5	34.0	45.0			
・中央制御室計測用変圧器B	50.0	50.0	50.0	50.0	・中央制御室計測用変圧器B	50.0	50.0	50.0	50.0			
・計測用主変圧器	50.0	50.0	50.0	50.0	・計測用主変圧器	50.0	50.0	50.0	50.0			
必要負荷	294.9	294.5	312.3	305.4	必要負荷	<u>295.4</u>	<u>294.9</u>	<u>312.7</u>	<u>305.8</u>			
配備電源	500kVA 電源車	500kVA 電源車	500kVA 電源車	500kVA 電源車	配備電源	500kVA 電源車	500kVA 電源車	500kVA 電源車	500kVA 電源車			
P/C 1WB-1	・純水移送ポンプB	51.7	-	-	-	P/C 1WB-1	・純水移送ポンプB	<u>51.8</u>	-	-	-	
	必要負荷	51.7	-	-	-		必要負荷	<u>51.8</u>	-	-	-	
	配備電源	500kVA 電源車	-	-	-		配備電源	500kVA 電源車	-	-	-	

※復水移送ポンプによる注水と残留熱除去系封水ポンプによる注水は、系統構成上、同時に機能することはない。

※電動弁の負荷は、開閉動作時に発生するものであり、常時負荷が発生しているものではない。

※復水移送ポンプによる注水と残留熱除去系封水ポンプによる注水は、系統構成上、同時に機能することはない。

※電動弁の負荷は、開閉動作時に発生するものであり、常時負荷が発生しているものではない。

補正前後比較表

補正前						補正後						補正理由・内容
23 ページ						23 ページ						
代替注水及び淡水移送機能に除熱機能を加えた場合の電源容量						代替注水及び淡水移送機能に除熱機能を加えた場合の電源容量						<p>表中の各負荷容量を算出する際、関連機器の負荷容量を、補正前は小数点第2位で四捨五入していたが、補正後は小数点第2位を切り上げ（安全側）とした上で、総和を求めることとしたため、各負荷容量の値が変更となった。</p> <p>750kVA 電源車を柏崎刈羽発電所に移動した為、500kVA 電源車2台に見直した。</p>
電源母線	負荷名称	1号機 (冷温停止中) 負荷(kVA)	2号機 (冷温停止中) 負荷(kVA)	3号機 (冷温停止中) 負荷(kVA)	4号機 (冷温停止中) 負荷(kVA)	電源母線	負荷名称	1号機 (冷温停止中) 負荷(kVA)	2号機 (冷温停止中) 負荷(kVA)	3号機 (冷温停止中) 負荷(kVA)	4号機 (冷温停止中) 負荷(kVA)	
M/C	・残留熱除去系ポンプB	862.1	755.6	862.1	823.3	M/C	・残留熱除去系ポンプB	862.1	755.6	862.1	823.3	
	必要負荷	862.1	755.6	862.1	823.3		必要負荷	862.1	755.6	862.1	823.3	
D	・残留熱除去系ポンプD	起動器又は大容量電源車を検討中	起動器又は大容量電源車を検討中	起動器又は大容量電源車を検討中	起動器又は大容量電源車を検討中	D	・残留熱除去系ポンプD	起動器又は大容量電源車を検討中	起動器又は大容量電源車を検討中	起動器又は大容量電源車を検討中	起動器又は大容量電源車を検討中	
	配備電源	起動器又は大容量電源車を検討中	起動器又は大容量電源車を検討中	起動器又は大容量電源車を検討中	起動器又は大容量電源車を検討中		配備電源	起動器又は大容量電源車を検討中	起動器又は大容量電源車を検討中	起動器又は大容量電源車を検討中	起動器又は大容量電源車を検討中	
P/C D-1	・代替注水及び淡水移送機能	294.9	294.5	312.3	305.4	P/C D-1	・代替注水及び淡水移送機能	<u>295.4</u>	<u>294.9</u>	<u>312.7</u>	<u>305.8</u>	
	・残留熱除去冷却系ポンプD	仮設受電中 (*1)	Bポンプ仮設受電中 (*3)	P/C D-2 から受電 (*4)	219.8		・残留熱除去冷却系ポンプD	仮設受電中 (*1)	Bポンプ仮設受電中 (*3)	P/C D-2 から受電 (*4)	219.8	
	・残留熱除去冷却海水系ポンプD	Bポンプ仮設受電中 (*2)	321.4	P/C D-2 から受電 (*5)	301.6		・残留熱除去冷却海水系ポンプD	Bポンプ仮設受電中 (*2)	<u>321.5</u>	P/C D-2 から受電 (*5)	301.6	
	・RHR B系熱交換器胴側入口弁	9.8	4.6	9.8	9.8		・RHR B系熱交換器胴側入口弁	9.8	<u>4.7</u>	9.8	9.8	
	・RHR FPC系戻り連絡弁	3.4	-	-	-		・RHR FPC系戻り連絡弁	3.4	-	-	-	
	必要負荷	308.1	620.6	322.1	836.5		必要負荷	<u>308.6</u>	<u>621.1</u>	<u>322.5</u>	<u>837.0</u>	
	配備電源	500kVA 電源車	750kVA 電源車×1台	500kVA 電源車	500kVA 電源車×2台		配備電源	500kVA 電源車	<u>500kVA</u> 電源車×2台	500kVA 電源車	500kVA 電源車×2台	
P/C D-2	・残留熱除去冷却系ポンプD	-	-	(*4) 203.3	-	P/C D-2	・残留熱除去冷却系ポンプD	-	-	(*4) 203.3	-	
	・残留熱除去冷却海水系ポンプD	-	-	(*5) 349.4	-		・残留熱除去冷却海水系ポンプD	-	-	(*5) 349.4	-	
	必要負荷	-	-	552.7	-		必要負荷	-	-	552.7	-	
P/C 1WB-1	・残留熱除去冷却系ポンプD	-	-	500kVA 電源車×2台	-	P/C 1WB-1	・残留熱除去冷却系ポンプD	-	-	500kVA 電源車×2台	-	
	配備電源	-	-	500kVA 電源車×2台	-		配備電源	-	-	500kVA 電源車×2台	-	
P/C 1WB-1	・代替注水及び淡水移送機能	(1-4 共通) 51.7	-	-	-	P/C 1WB-1	・代替注水及び淡水移送機能	(1-4 共通) <u>51.8</u>	-	-	-	
	・残留熱除去冷却系ポンプD	(*1) 229.9	-	-	-		・残留熱除去冷却系ポンプD	(*1) 229.9	-	-	-	
	・残留熱除去冷却海水系ポンプB	(*2) 362.5	-	-	-		・残留熱除去冷却海水系ポンプB	(*2) 362.5	-	-	-	
	・2号機残留熱除去冷却系ポンプB	(*3) 344.8	-	-	-		・2号機残留熱除去冷却系ポンプB	(*3) <u>344.9</u>	-	-	-	
	必要負荷	988.9	-	-	-		必要負荷	<u>989.1</u>	-	-	-	
	配備電源	500kVA 電源車×2台	-	-	-		配備電源	500kVA 電源車×2台	-	-	-	

※ 電動弁の負荷は、開閉動作時に発生するものであり、常時負荷が発生しているものではない。

※ 電動弁の負荷は、開閉動作時に発生するものであり、常時負荷が発生しているものではない。

補正前後比較表

補正前	補正後	補正理由・内容								
<p>26 ページ</p> <p style="text-align: center;">福島第二原子力発電所 緊急安全対策に必要な資機材一覧表</p> <p>1. 電源確保</p> <p>(1) 電源容量</p> <table border="1" data-bbox="121 495 1210 1619"> <thead> <tr> <th>必要能力</th> <th>確保能力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p><必要電源容量></p> <p>1号機：1153.1 kVA (RHR 除く 291 kVA)</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：983.8 kVA (RHR ポンプ用電源：862.1 kVA) 計装電源：169.3 kVA <p>2号機：1366.3 kVA (RHR 除く 610.7 kVA)</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：1177.0 kVA (RHR ポンプ用電源：755.6 kVA) 計装電源：189.3 kVA <p>3号機：1714.3 kVA (RHR 除く 852.2 kVA)</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：1533.7 kVA (RHR ポンプ用電源：862.1 kVA) 計装電源：180.6 kVA <p>4号機：1648.0kVA (RHR 除く 824.7 kVA)</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：1451.2 kVA (RHR ポンプ用電源：823.3 kVA) 計装電源：196.8 kVA <p>R W：988.9 kVA</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：988.9 kVA <p><必要ケーブル長></p> <p>1号機：低圧 約 600m, 高圧 約 200m</p> <p>2号機：低圧 約 600m, 高圧 約 220m</p> <p>3号機：低圧 約 600m, 高圧 約 300m</p> <p>4号機：低圧 約 600m, 高圧 約 440m</p> <p>合計：低圧 約 2400m, 高圧 約 1160m</p> <p><モニタリングポスト></p> <ul style="list-style-type: none"> 計装電源：5.7 kVA ケーブル：低圧 約 40m </td> <td> <p><確保電源容量></p> <p>1号機：500 kVA (*1)</p> <p>2号機：750 kVA (*1)</p> <p>3号機：1500 kVA (*1)</p> <p>4号機：1000 kVA (*1)</p> <p>*1：各号機の RHR ポンプ 用は検討中</p> <p>R W：1000 kVA</p> <p>予 備：3500 kVA</p> <p><確保ケーブル></p> <p>低圧ケーブル</p> <p>3000m (100m×30ドラム)</p> <p>高圧ケーブル (布設済み)</p> <p>1号機：約 200m</p> <p>2号機：約 220m</p> <p>3号機：約 300m</p> <p>4号機：約 440m</p> <p><モニタリングポスト></p> <ul style="list-style-type: none"> 発電機：50 kVA ケーブル：低圧 約 40m (布設済み) </td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 保管場所</p> <p>電源車：計 17 台、高台駐車場 (O.P. 約 18.5m)</p> <p>発電機：計 1 台、高台駐車場 (O.P. 約 18.5m)</p> <p>保管ケーブル：資材倉庫 (O.P. 50m)</p> <p>(3) 接続所要時間</p> <p>約 3 時間 (訓練実績)</p>	必要能力	確保能力	<p><必要電源容量></p> <p>1号機：1153.1 kVA (RHR 除く 291 kVA)</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：983.8 kVA (RHR ポンプ用電源：862.1 kVA) 計装電源：169.3 kVA <p>2号機：1366.3 kVA (RHR 除く 610.7 kVA)</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：1177.0 kVA (RHR ポンプ用電源：755.6 kVA) 計装電源：189.3 kVA <p>3号機：1714.3 kVA (RHR 除く 852.2 kVA)</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：1533.7 kVA (RHR ポンプ用電源：862.1 kVA) 計装電源：180.6 kVA <p>4号機：1648.0kVA (RHR 除く 824.7 kVA)</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：1451.2 kVA (RHR ポンプ用電源：823.3 kVA) 計装電源：196.8 kVA <p>R W：988.9 kVA</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：988.9 kVA <p><必要ケーブル長></p> <p>1号機：低圧 約 600m, 高圧 約 200m</p> <p>2号機：低圧 約 600m, 高圧 約 220m</p> <p>3号機：低圧 約 600m, 高圧 約 300m</p> <p>4号機：低圧 約 600m, 高圧 約 440m</p> <p>合計：低圧 約 2400m, 高圧 約 1160m</p> <p><モニタリングポスト></p> <ul style="list-style-type: none"> 計装電源：5.7 kVA ケーブル：低圧 約 40m 	<p><確保電源容量></p> <p>1号機：500 kVA (*1)</p> <p>2号機：750 kVA (*1)</p> <p>3号機：1500 kVA (*1)</p> <p>4号機：1000 kVA (*1)</p> <p>*1：各号機の RHR ポンプ 用は検討中</p> <p>R W：1000 kVA</p> <p>予 備：3500 kVA</p> <p><確保ケーブル></p> <p>低圧ケーブル</p> <p>3000m (100m×30ドラム)</p> <p>高圧ケーブル (布設済み)</p> <p>1号機：約 200m</p> <p>2号機：約 220m</p> <p>3号機：約 300m</p> <p>4号機：約 440m</p> <p><モニタリングポスト></p> <ul style="list-style-type: none"> 発電機：50 kVA ケーブル：低圧 約 40m (布設済み) 	<p>26 ページ</p> <p style="text-align: center;">福島第二原子力発電所 緊急安全対策に必要な資機材一覧表</p> <p>1. 電源確保</p> <p>(1) 電源容量</p> <table border="1" data-bbox="1255 495 2344 1619"> <thead> <tr> <th>必要能力</th> <th>確保能力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p><必要電源容量></p> <p>1号機：295.4 kVA</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：126.1 kVA 計装電源：169.3 kVA <p>2号機：294.9 kVA</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：105.6 kVA 計装電源：189.3 kVA <p>3号機：312.7 kVA</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：132.1 kVA 計装電源：180.6 kVA <p>4号機：305.8kVA</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：109.0 kVA 計装電源：196.8 kVA <p>R W：51.8 kVA</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：51.8 kVA <p><必要ケーブル長></p> <p>1号機：低圧 約 600m, 高圧 約 200m</p> <p>2号機：低圧 約 600m, 高圧 約 220m</p> <p>3号機：低圧 約 600m, 高圧 約 300m</p> <p>4号機：低圧 約 600m, 高圧 約 440m</p> <p>合計：低圧 約 2400m, 高圧 約 1160m</p> <p><モニタリングポスト></p> <ul style="list-style-type: none"> 計装電源：5.7 kVA ケーブル：低圧 約 40m </td> <td> <p><確保電源容量></p> <p>1号機：500 kVA</p> <p>2号機：500 kVA</p> <p>3号機：500 kVA</p> <p>4号機：500 kVA</p> <p>R W：500 kVA</p> <p><確保ケーブル></p> <p>低圧ケーブル</p> <p>3000m (100m×30ドラム)</p> <p>高圧ケーブル (布設済み)</p> <p>1号機：約 200m</p> <p>2号機：約 220m</p> <p>3号機：約 300m</p> <p>4号機：約 440m</p> <p><モニタリングポスト></p> <ul style="list-style-type: none"> 発電機：50 kVA ケーブル：低圧 約 40m (布設済み) </td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 保管場所</p> <p>電源車：計 5 台、高台駐車場 (O.P.約 18.5 m)</p> <p>発電機：計 1 台、高台駐車場 (O.P. 約 18.5m)</p> <p>保管ケーブル：資材倉庫 (O.P. 50m)</p> <p>(3) 接続所要時間</p> <p>約 3 時間 (訓練実績)</p>	必要能力	確保能力	<p><必要電源容量></p> <p>1号機：295.4 kVA</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：126.1 kVA 計装電源：169.3 kVA <p>2号機：294.9 kVA</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：105.6 kVA 計装電源：189.3 kVA <p>3号機：312.7 kVA</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：132.1 kVA 計装電源：180.6 kVA <p>4号機：305.8kVA</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：109.0 kVA 計装電源：196.8 kVA <p>R W：51.8 kVA</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：51.8 kVA <p><必要ケーブル長></p> <p>1号機：低圧 約 600m, 高圧 約 200m</p> <p>2号機：低圧 約 600m, 高圧 約 220m</p> <p>3号機：低圧 約 600m, 高圧 約 300m</p> <p>4号機：低圧 約 600m, 高圧 約 440m</p> <p>合計：低圧 約 2400m, 高圧 約 1160m</p> <p><モニタリングポスト></p> <ul style="list-style-type: none"> 計装電源：5.7 kVA ケーブル：低圧 約 40m 	<p><確保電源容量></p> <p>1号機：500 kVA</p> <p>2号機：500 kVA</p> <p>3号機：500 kVA</p> <p>4号機：500 kVA</p> <p>R W：500 kVA</p> <p><確保ケーブル></p> <p>低圧ケーブル</p> <p>3000m (100m×30ドラム)</p> <p>高圧ケーブル (布設済み)</p> <p>1号機：約 200m</p> <p>2号機：約 220m</p> <p>3号機：約 300m</p> <p>4号機：約 440m</p> <p><モニタリングポスト></p> <ul style="list-style-type: none"> 発電機：50 kVA ケーブル：低圧 約 40m (布設済み) 	<p>表中の各負荷容量を算出する際、関連機器の負荷容量を、補正前は小数点第 2 位で四捨五入していたが、補正後は小数点第 2 位を切り上げ (安全側) とした上で、総和を求めることとしたため、各負荷容量の値が変更となった。</p> <p>また、緊急安全対策として必要な電源は注水機能を確保するためのものであることから、注水機能の観点で必要電源容量及び確保電源容量を整理し、記載を見直した。</p> <p>各建屋で必要な確保電源容量に見合う電源車の台数とした。</p>
必要能力	確保能力									
<p><必要電源容量></p> <p>1号機：1153.1 kVA (RHR 除く 291 kVA)</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：983.8 kVA (RHR ポンプ用電源：862.1 kVA) 計装電源：169.3 kVA <p>2号機：1366.3 kVA (RHR 除く 610.7 kVA)</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：1177.0 kVA (RHR ポンプ用電源：755.6 kVA) 計装電源：189.3 kVA <p>3号機：1714.3 kVA (RHR 除く 852.2 kVA)</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：1533.7 kVA (RHR ポンプ用電源：862.1 kVA) 計装電源：180.6 kVA <p>4号機：1648.0kVA (RHR 除く 824.7 kVA)</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：1451.2 kVA (RHR ポンプ用電源：823.3 kVA) 計装電源：196.8 kVA <p>R W：988.9 kVA</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：988.9 kVA <p><必要ケーブル長></p> <p>1号機：低圧 約 600m, 高圧 約 200m</p> <p>2号機：低圧 約 600m, 高圧 約 220m</p> <p>3号機：低圧 約 600m, 高圧 約 300m</p> <p>4号機：低圧 約 600m, 高圧 約 440m</p> <p>合計：低圧 約 2400m, 高圧 約 1160m</p> <p><モニタリングポスト></p> <ul style="list-style-type: none"> 計装電源：5.7 kVA ケーブル：低圧 約 40m 	<p><確保電源容量></p> <p>1号機：500 kVA (*1)</p> <p>2号機：750 kVA (*1)</p> <p>3号機：1500 kVA (*1)</p> <p>4号機：1000 kVA (*1)</p> <p>*1：各号機の RHR ポンプ 用は検討中</p> <p>R W：1000 kVA</p> <p>予 備：3500 kVA</p> <p><確保ケーブル></p> <p>低圧ケーブル</p> <p>3000m (100m×30ドラム)</p> <p>高圧ケーブル (布設済み)</p> <p>1号機：約 200m</p> <p>2号機：約 220m</p> <p>3号機：約 300m</p> <p>4号機：約 440m</p> <p><モニタリングポスト></p> <ul style="list-style-type: none"> 発電機：50 kVA ケーブル：低圧 約 40m (布設済み) 									
必要能力	確保能力									
<p><必要電源容量></p> <p>1号機：295.4 kVA</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：126.1 kVA 計装電源：169.3 kVA <p>2号機：294.9 kVA</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：105.6 kVA 計装電源：189.3 kVA <p>3号機：312.7 kVA</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：132.1 kVA 計装電源：180.6 kVA <p>4号機：305.8kVA</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：109.0 kVA 計装電源：196.8 kVA <p>R W：51.8 kVA</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力電源：51.8 kVA <p><必要ケーブル長></p> <p>1号機：低圧 約 600m, 高圧 約 200m</p> <p>2号機：低圧 約 600m, 高圧 約 220m</p> <p>3号機：低圧 約 600m, 高圧 約 300m</p> <p>4号機：低圧 約 600m, 高圧 約 440m</p> <p>合計：低圧 約 2400m, 高圧 約 1160m</p> <p><モニタリングポスト></p> <ul style="list-style-type: none"> 計装電源：5.7 kVA ケーブル：低圧 約 40m 	<p><確保電源容量></p> <p>1号機：500 kVA</p> <p>2号機：500 kVA</p> <p>3号機：500 kVA</p> <p>4号機：500 kVA</p> <p>R W：500 kVA</p> <p><確保ケーブル></p> <p>低圧ケーブル</p> <p>3000m (100m×30ドラム)</p> <p>高圧ケーブル (布設済み)</p> <p>1号機：約 200m</p> <p>2号機：約 220m</p> <p>3号機：約 300m</p> <p>4号機：約 440m</p> <p><モニタリングポスト></p> <ul style="list-style-type: none"> 発電機：50 kVA ケーブル：低圧 約 40m (布設済み) 									

補正前後比較表

朱書き・下線部分が補正箇所

補正前		補正後		補正理由・内容
27 ページ		27 ページ		
(4) 連続発電時間 (内蔵タンク使用時) 1号機：2時間 2号機：2時間 3号機：2時間 4号機：2時間		(4) 連続発電時間 (内蔵タンク使用時) 1号機：2時間 2号機：2時間 3号機：2時間 4号機：2時間		
2. 原子炉、使用済燃料プールへの注水		2. 原子炉、使用済燃料プールへの注水		
(1) 供給能力		(1) 供給能力		
必要能力	確保能力	必要能力	確保能力	
[原子炉] <必要ポンプ能力> 1～4号機 約 30m ³ /h、約 0.7 MPa (流量は、使用済燃料プール分を含む) <必要最小台数 2台> 淡水使用時 1台 海水使用時 2台 <必要ホース長> 1号：500 m 2号：－ m 3号：－ m 4号：－ m (1号の連結送水口より接続し1~4号機に注水するため、海水取水場所から1号連結送水口までの距離)	[原子炉、使用済燃料プール] <必要ポンプ能力> 1～4号機 約 120m ³ /h、約 0.85 MPa <設置台数 3台> <確保ホース長> 1号：2000 m (20 m×100 本) 2号：－ m 3号：－ m 4号：－ m	[原子炉] <必要ポンプ能力> 1～4号機 約 30m ³ /h、約 0.7 MPa (流量は、使用済燃料プール分を含む) <必要最小台数 2台> 淡水使用時 1台 海水使用時 2台 <必要ホース長> 1号：500 m 2号：－ m 3号：－ m 4号：－ m (1号の連結送水口より接続し1~4号機に注水するため、海水取水場所から1号連結送水口までの距離)	[原子炉、使用済燃料プール] <必要ポンプ能力> 1～4号機 約 120m ³ /h、約 0.85 MPa <設置台数 3台> <確保ホース長> 1号：2000 m (20 m×100 本) 2号：－ m 3号：－ m 4号：－ m	
(2) 保管場所 ポンプ車：計 3 台、高台駐車場 (O.P. 18.5 m：1 台) (O.P. 47 m：2 台) 保管ホース：計 2000m、消防車		(2) 保管場所 ポンプ車：計 <u>2</u> 台、高台駐車場 <u>(O.P. 18.5 m、O.P. 47 m)</u> 保管ホース：計 2000m、消防車		ポンプ車台数は必要最小台数を記載した。 ポンプ車保管場所は、表現を変更した。
(3) 接続所用時間 約 1 時間未満 (訓練実績)		(3) 接続所用時間 約 1 時間未満 (訓練実績)		

補正前後比較表

朱書き・下線部分が補正箇所

補正前	補正後	補正理由・内容																								
<p>28 ページ</p> <p>(4) 水源</p> <p>1号復水貯蔵タンク：509m³ (O.P. 12 m)</p> <p>2号復水貯蔵タンク：430m³ (O.P. 12 m)</p> <p>3号復水貯蔵タンク：509m³ (O.P. 12 m)</p> <p>4号復水貯蔵タンク：466m³ (O.P. 12 m)</p> <p>(保安規定で要求される値)</p> <p>No.1 純水タンク：510m³ (O.P. 約17.7 m)</p> <p>No.2 純水タンク：510m³ (O.P. 約17.7 m)</p> <p>No.1 ろ過水タンク：3080m³ (O.P. 約43.7 m)</p> <p>No.2 ろ過水タンク：3080m³ (O.P. 約43.7 m)</p> <p>(水位低警報の値)</p> <p>海水 (取水口などより汲上げ)</p> <p>(5) 連続給水時間 (車載タンク使用時)</p> <p>1～4号機：5時間</p> <p>3. 資機材運転日数</p> <p>(1) 燃料保有量</p> <p>軽油タンク：2560 キロリットル</p> <p>ドラム缶：1.6 キロリットル</p> <p>(2) 電源車と消防車を同時に運転した時の運転日数</p> <p>約 137 日</p> <p>(3) その他</p> <p>電源車と消防車には、燃料用ローリー又はドラム缶にて燃料を補給</p> <p>4. その他</p> <table border="1" data-bbox="166 1570 1181 1801"> <thead> <tr> <th>資機材名</th> <th>1～4号機</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予備ポンベ</td> <td>8本</td> <td>空気作動弁 (原子炉格納容器ベント弁) 駆動用</td> </tr> <tr> <td>ホイールローダ</td> <td>1台</td> <td>瓦礫除去</td> </tr> <tr> <td>砕石</td> <td>10m³</td> <td>道路段差部のすりつけ、陥没部の補充</td> </tr> </tbody> </table>	資機材名	1～4号機	備考	予備ポンベ	8本	空気作動弁 (原子炉格納容器ベント弁) 駆動用	ホイールローダ	1台	瓦礫除去	砕石	10m ³	道路段差部のすりつけ、陥没部の補充	<p>28 ページ</p> <p>(4) 水源</p> <p>1号復水貯蔵タンク：509m³ (O.P. 12 m)</p> <p>2号復水貯蔵タンク：430m³ (O.P. 12 m)</p> <p>3号復水貯蔵タンク：509m³ (O.P. 12 m)</p> <p>4号復水貯蔵タンク：466m³ (O.P. 12 m)</p> <p>(保安規定で要求される値)</p> <p>No.1 純水タンク：510m³ (O.P. 約17.7 m)</p> <p>No.2 純水タンク：510m³ (O.P. 約17.7 m)</p> <p>No.1 ろ過水タンク：3080m³ (O.P. 約43.7 m)</p> <p>No.2 ろ過水タンク：3080m³ (O.P. 約43.7 m)</p> <p>(水位低警報の値)</p> <p>海水 (取水口などより汲上げ)</p> <p>(5) 連続給水時間 (車載タンク使用時)</p> <p>1～4号機：5時間</p> <p>3. 資機材運転日数</p> <p>(1) 燃料保有量</p> <p>軽油タンク：<u>2273</u> キロリットル</p> <p>(2) 電源車と消防車を同時に運転した時の運転日数</p> <p>約 <u>278</u> 日</p> <p>(3) その他</p> <p>電源車と消防車には、燃料用ローリー又はドラム缶にて燃料を補給</p> <p>4. その他</p> <table border="1" data-bbox="1320 1528 2335 1759"> <thead> <tr> <th>資機材名</th> <th>1～4号機</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予備ポンベ</td> <td>8本</td> <td>空気作動弁 (原子炉格納容器ベント弁) 駆動用</td> </tr> <tr> <td>ホイールローダ</td> <td>1台</td> <td>瓦礫除去</td> </tr> <tr> <td>砕石</td> <td>10m³</td> <td>道路段差部のすりつけ、陥没部の補充</td> </tr> </tbody> </table>	資機材名	1～4号機	備考	予備ポンベ	8本	空気作動弁 (原子炉格納容器ベント弁) 駆動用	ホイールローダ	1台	瓦礫除去	砕石	10m ³	道路段差部のすりつけ、陥没部の補充	<p>主な燃料保有量として、軽油タンクのみ記載することに変更。</p> <p>軽油タンクの管理レベルを常用値から保安規定値に見直した。</p> <p>緊急安全対策として必要な電源は注水機能を確保するためのものであり、注水機能の観点で電源車の台数を見直した結果、運転日数が増となった。</p>
資機材名	1～4号機	備考																								
予備ポンベ	8本	空気作動弁 (原子炉格納容器ベント弁) 駆動用																								
ホイールローダ	1台	瓦礫除去																								
砕石	10m ³	道路段差部のすりつけ、陥没部の補充																								
資機材名	1～4号機	備考																								
予備ポンベ	8本	空気作動弁 (原子炉格納容器ベント弁) 駆動用																								
ホイールローダ	1台	瓦礫除去																								
砕石	10m ³	道路段差部のすりつけ、陥没部の補充																								

補正前後比較表

朱書き・下線部分が補正箇所

補正前					補正後					補正理由・内容
29 ページ					29 ページ					直流125V蓄電池（B） 点検の記載漏れを追記した。
1号機 緊急点検結果【本設備】					1号機 緊急点検結果【本設備】					
項目	点検対象設備	点検方法	点検日	結果	項目	点検対象設備	点検方法	点検日	結果	
(1)電源確保	(別紙【資機材】参照)				(1)電源確保	(別紙【資機材】参照)				
(2)原子炉の注水・冷却機能強化	原子炉注水機能の確保 (MUWC)	復水貯蔵タンク	水位確認	H23.4.28	7.21m	復水貯蔵タンク	水位確認	H23.4.28	7.21m	
		残留熱除去系封水ポンプ(B)	運転状態確認	H23.5.10	3/16までの運転で確認	残留熱除去系封水ポンプ(B)	運転状態確認	H23.5.10	3/16までの運転で確認	
		残留熱除去系封水配管	実機確認	H23.5.10	3/16までの運転で確認	残留熱除去系封水配管	実機確認	H23.5.10	3/16までの運転で確認	
		復水移送ポンプ(B)	運転状態確認	H23.4.28	良	復水移送ポンプ(B)	運転状態確認	H23.4.28	良	
		復水補給水系／残留熱除去系配管・弁	実機確認	H23.3.12	良	復水補給水系／残留熱除去系配管・弁	実機確認	H23.3.12	良	
		主蒸気逃し安全弁・排気管	実機確認	H23.3.12	良	主蒸気逃し安全弁・排気管	実機確認	H23.3.12	良	
		原子炉注水機能の確保 (FP)	消火栓連結送水口(F071D)	外観点検	H23.5.12	良	消火栓連結送水口(F071D)	外観点検	H23.5.12	
ディーゼル駆動消火ポンプ	定例試験		H23.4.29	良	ディーゼル駆動消火ポンプ	定例試験	H23.4.29	良		
ろ過水タンク	水位確認		H23.4.28	No.1:5350mm	ろ過水タンク	水位確認	H23.4.28	No.1:5350mm		
			H23.4.28	No.2:10009mm			H23.4.28	No.2:10009mm		
防火水槽	水位確認		H23.5.12	満水	防火水槽	水位確認	H23.5.12	満水		
消火系配管・弁	外観点検		H23.3.20 ~H23.5.12	良	消火系配管・弁	外観点検	H23.3.20 ~H23.5.12	良		
復水補給水系ー消火系連絡配管・弁	外観点検		H23.5.19	良	復水補給水系ー消火系連絡配管・弁	外観点検	H23.5.19	良		

補正前後比較表

朱書き・下線部分が補正箇所

補正前					補正後					補正理由・内容	
30 ページ					30 ページ					直流125V蓄電池(B) 点検の記載漏れを追記した。	
2号機 緊急点検結果【本設備】					2号機 緊急点検結果【本設備】						
項目	点検対象設備	点検方法	点検日	結果	項目	点検対象設備	点検方法	点検日	結果		
(1)電源確保	(別紙【資機材】参照)				(1)電源確保	(別紙【資機材】参照)					
(2)原子炉の注水・冷却機能強化	原子炉注水機能の確保(MUWC)	復水貯蔵タンク	水位確認	H23.4.27	8.96m	(2)原子炉の注水・冷却機能強化	復水貯蔵タンク	水位確認	H23.4.27		8.96m
		残留熱除去系封水ポンプ(B)	運転状態確認	H23.5.10	良		残留熱除去系封水ポンプ(B)	運転状態確認	H23.5.10		良
		残留熱除去系封水配管	実機確認	H23.5.10	良		残留熱除去系封水配管	実機確認	H23.5.10		良
		復水移送ポンプ(B)	運転状態確認	H23.4.10	良		復水移送ポンプ(B)	運転状態確認	H23.4.10		良
		復水補給水系／残留熱除去系配管・弁	実機確認	H23.3.11	良		復水補給水系／残留熱除去系配管・弁	実機確認	H23.3.11		良
		主蒸気逃し安全弁・排気管	実機確認	H23.3.11	良		主蒸気逃し安全弁・排気管	実機確認	H23.3.11		良
原子炉注水機能の確保(FP)	消火栓連結送水口(F071D)	1号機 緊急点検結果【本設備】 参照			原子炉注水機能の確保(FP)	消火栓連結送水口(F071D)	1号機 緊急点検結果【本設備】 参照				
	ディーゼル駆動消火ポンプ										
	ろ過水タンク										
	防火水槽	水位確認	H23.5.12	満水		防火水槽	水位確認	H23.5.12	満水		
	消火系配管・弁	外観点検	H23.3.20 ~H23.5.6	良		消火系配管・弁	外観点検	H23.3.20 ~H23.5.6	良		
	復水補給水系－消火系連絡配管・弁	外観点検	H23.5.19	良		復水補給水系－消火系連絡配管・弁	外観点検	H23.5.19	良		

補正前後比較表

朱書き・下線部分が補正箇所

補正前					補正後					補正理由・内容
31 ページ					31 ページ					直流125V蓄電池(B) 点検の記載漏れを追記した。
3号機 緊急点検結果【本設備】					3号機 緊急点検結果【本設備】					
項目	点検対象設備	点検方法	点検日	結果	項目	点検対象設備	点検方法	点検日	結果	
(1)電源確保	(別紙【資機材】参照)				(1)電源確保	(別紙【資機材】参照)				
(2)原子炉の注水・冷却機能強化	原子炉注水機能の確保(MUWC)	復水貯蔵タンク	水位確認	H23. 5.10	8.7m	<u>直流125V蓄電池(B)</u>	<u>定例試験</u>	<u>H23.5.8</u>	<u>良</u>	
		残留熱除去系封水ポンプ(B)	運転状態確認	H23. 5.10	良	復水貯蔵タンク	水位確認	H23. 5.10	8.7m	
		残留熱除去系封水配管	実機確認	H23.5.10	良	残留熱除去系封水ポンプ(B)	運転状態確認	H23. 5.10	良	
		復水移送ポンプ(B)	運転状態確認	H23. 5.10	良	残留熱除去系封水配管	実機確認	H23.5.10	良	
		復水補給水系／残留熱除去系配管・弁	実機確認	H23.3.11	良	復水移送ポンプ(B)	運転状態確認	H23. 5.10	良	
		主蒸気逃し安全弁・排気管	実機確認	H23.3.11	良	復水補給水系／残留熱除去系配管・弁	実機確認	H23.3.11	良	
原子炉注水機能の確保(FP)	消火栓連結送水口(F0821)	外観点検	H23.5.12	良	主蒸気逃し安全弁・排気管	実機確認	H23.3.11	良		
	ディーゼル駆動消火ポンプ	1号機 緊急点検結果【本設備】参照			消火栓連結送水口(F0821)	外観点検	H23.5.12	良		
	ろ過水タンク	参照			ディーゼル駆動消火ポンプ	1号機 緊急点検結果【本設備】参照				
	防火水槽	水位確認	H23.5.12	満水*1	ろ過水タンク	参照				
	消火系配管・弁	外観点検	H23.3.20 ~H23.5.7	良	防火水槽	水位確認	H23.5.12	満水*1		
	復水補給水系ー消火系連絡配管・弁	外観点検	H23.5.19	良	消火系配管・弁	外観点検	H23.3.20 ~H23.5.7	良		
					復水補給水系ー消火系連絡配管・弁	外観点検	H23.5.19	良		

補正前後比較表

朱書き・下線部分が補正箇所

補正前					補正後					補正理由・内容
32 ページ					32 ページ					直流125V蓄電池(B)点検の記載漏れを追記した。
4号機 緊急点検結果【本設設備】					4号機 緊急点検結果【本設設備】					
項目	点検対象設備	点検方法	点検日	結果	項目	点検対象設備	点検方法	点検日	結果	
(1)電源確保	(別紙【資機材】参照)				(1)電源確保	(別紙【資機材】参照)				
(2)原子炉の注水・冷却機能強化	原子炉注水機能の確保(MUWC)	復水貯蔵タンク	水位確認	H23. 5.10	7.1m	復水貯蔵タンク	水位確認	H23. 5.10	7.1m	
		残留熱除去系封水ポンプ(B)	運転状態確認	H23. 5.10	良	残留熱除去系封水ポンプ(B)	運転状態確認	H23. 5.10	良	
		残留熱除去系封水配管	実機確認	H23.5.10	良	残留熱除去系封水配管	実機確認	H23.5.10	良	
		復水移送ポンプ(B)	運転状態確認	H23. 5.10	良(待機中)	復水移送ポンプ(B)	運転状態確認	H23. 5.10	良(待機中)	
		復水補給水系／残留熱除去系配管・弁	実機確認	H23.3.12	良	復水補給水系／残留熱除去系配管・弁	実機確認	H23.3.12	良	
		主蒸気逃し安全弁・排気管	実機確認	H23.3.12	良	主蒸気逃し安全弁・排気管	実機確認	H23.3.12	良	
原子炉注水機能の確保(FP)	消火栓連結送水口(F0821)	3号機 緊急点検結果【本設設備】参照			消火栓連結送水口(F0821)	3号機 緊急点検結果【本設設備】参照				
	ディーゼル駆動消火ポンプ	1号機 緊急点検結果【本設設備】参照			ディーゼル駆動消火ポンプ	1号機 緊急点検結果【本設設備】参照				
	ろ過水タンク	参照			ろ過水タンク	参照				
	防火水槽	水位確認	H23.5.12	満水	防火水槽	水位確認	H23.5.12	満水		
	消火系配管・弁	外観点検	H23.3.20 ~H23.5.7	良	消火系配管・弁	外観点検	H23.3.20 ~H23.5.7	良		
	復水補給水系－消火系連絡配管・弁	外観点検	H23.5.19	良	復水補給水系－消火系連絡配管・弁	外観点検	H23.5.19	良		

補正前後比較表

朱書き・下線部分が補正箇所

補正前	補正後	補正理由・内容
<p>ページ追加</p>	<p>37 ページ</p> <p><u>(3) タービン建屋機器の浸水防止対策</u></p>  <p><u>復水移送ポンプ廻りへの浸水を防止するために、ポンプ廻りに土嚢を配備</u></p>	<p>タービン建屋機器の浸水防止対策を追記した。</p>

補正前後比較表

朱書き・下線部分が補正箇所

補正前		補正後		補正理由・内容
37 ページ		38 ページ		
緊急安全対策	対応内容	緊急安全対策	対応内容	
①緊急点検の実施	a. 緊急時に使用する設備・機器の点検 (本設備、資機材)	①緊急点検の実施	a. 緊急時に使用する設備・機器の点検 (本設備、資機材)	
②緊急時対応計画の点検及び訓練の実施	a. マニュアル類の整備 (津波アクシデントマネジメントの手引き)	②緊急時対応計画の点検及び訓練の実施	a. マニュアル類の整備 (津波アクシデントマネジメントの手引き)	
	b. 訓練計画の策定と訓練の実施		b. 訓練計画の策定と訓練の実施	
③緊急時の電源確保	a. 代替電源の確保	③緊急時の電源確保	a. 代替電源の確保	
	b. モニタリングポスト代替電源の確保 (発電機 1 台)		b. モニタリングポスト代替電源の確保 (発電機 1 台)	
④緊急時の最終的な除熱機能の確保	a. 原子炉の注水機能や冷却機能の強化 (消防車 5 台)	④緊急時の最終的な除熱機能の確保	a. 原子炉の注水機能や冷却機能の強化 (消防車 <u>2</u> 台)	消防車を必要最小台数に見直した。
	b. 淡水水源の確保 (消防車 5 台) (④-a の再掲)		b. 淡水水源の確保 (消防車 <u>2</u> 台) (④-a の再掲)	同上
	c. 原子炉格納容器の減圧機能の確保 (予備ポンペ)		c. 原子炉格納容器の減圧機能の確保 (予備ポンペ)	同上
⑤緊急時の使用済燃料プールの冷却確保	a. 使用済燃料プールの注水機能や冷却機能の強化 (消防車 8 台) (④-a の再掲)	⑤緊急時の使用済燃料プールの冷却確保	a. 使用済燃料プールの注水機能や冷却機能の強化 (消防車 <u>2</u> 台) (④-a の再掲)	同上
⑥各原子力発電所における構造等を踏まえた、当面必要となる対応策の実施	a. 建屋の防水性の改善	⑥各原子力発電所における構造等を踏まえた、当面必要となる対応策の実施	a. 建屋の防水性の改善	
	b. 構内道路等のアクセス性確保 ①重機の配備 ②碎石の配備		b. <u>機器の防水性の改善</u> c. 構内道路等のアクセス性確保 ①重機の配備 ②碎石の配備	機器の防水性の改善を追記した。